



結核しずおか

3号2000年4月27日

発行所

財団法人結核予防会静岡県支部

〒420-0915

静岡市南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

発行責任者 花崎敏行

印刷 三協印刷株式会社



(写真提供 富士市 一条義明氏)

静岡県における結核対策上の問題点について

こういう見出しを見ると「ドキッ」となされる方もいらっしゃるかもしれませんが、結核予防会本部において、毎年「結核の統計」という本を出しています。

その一番最後に「結核管理図」として、結核に関する34の指標について、都道府県別に数値が産出されています。この数値を見ると、各県の結核対策上どのような問題があるかわかるようになっていきます。

最新版の結果（平成10年の数値）をみますと、静岡県の特徴として次のようなことがあげられそうです。

- ①発病から初診、初診から登録まで夫々1月以内の人の割合が全国平均より低い。
- ②*INH, *RFPを含まない化学療法を受けている人の割合が高い。
- ③結核の登録除外理由のうち、「転症」の割合が高い。

①は医者も患者ものんびりしていると言いますか、症状があってもなかなか受診しないし、お医者さんも保健所への届け出が遅い人がいるようだという事になりますし、②は、どうも古い治療法を続けていらっしゃる方がいることを示唆し、③は、非定型抗酸菌症などを登録している場合が多いことなどを示唆しています。

時あたかも、県内で医師の結核死の事案が生じ、地域の多くの人々に対し定期外健康診断を実施するなどの蔓延防止対策が行われました。予防会においても全面協力の体制で臨んでいるところでありますが、「結核は過去の病気」などと軽んじたりせず、身近かな問題とし常に心に留めておきたいものです。



財団法人結核予防会静岡県支部
副支部長 丸山 浩
(静岡県健康福祉部技監)

※INHはヒドラジット、*RFPはリファンピシン。両者とも主要な抗結核薬で、この2者に耐性を持った結核菌を多剤耐性菌と呼んでいます。他に化学療法には、PZA、SM（ストレプトマイシン）、EB（エタレプトール）などが使用されています。最近はこちららを、3～4種類組み合わせ、標準治療を始めることが多くなっています。

講演要旨

「集団検診の現状について」



日時 平成12年3月21日
会場 東海軒会館

講師 (財)結核予防会静岡県支部
静岡診療所長 小林健司

1998年のある新聞記事に「肺がん死、胃がん死に並び、トップ・喫煙対策急務」というものがあった。欧米先進国が、早くから禁煙推進に取り組んできたのに対し、我が国は大幅に遅れを取った。禁煙が徹底してから、実際に肺がんの減少が始まるには、20～30年ほどの潜伏期間があるとされる。このままだと肺がん死は、1998年が5万1千人なのに対し、2010年には年間10万人、2015年には12万人に登ると試算されている。肺がんそのものの増加をおさえるべく、一次予防としての禁煙・節煙がなされなければ、検診に力を注いでも死亡率は減らしようがない。

一時期、本当に肺がん検診が有効であるかどうか、疑問視された時期があったが、その後の調査研究の結果、現行の方法でも有効、との見解に落ち着きそうである。ただし、集団検診の有効性を保持するには、以下の条件が必要とされる。

まず、適切な精度管理がされている事。質の高いレントゲン、適切な読影、データの保存、必要時に過去の資料と比較出来る事、などがあげられる。地味で大変手間のかかる作業である。現在、特に問われている精度管理とは、…

①異常陰影を疑われ、医療機関への受診勧奨が出された場合は、必ず受診して頂く事。

検診が特に有用な場合、すなわち無症状で発見され、根治に結びつき得る早期肺がんは、あるかないかのような、微細な陰影からも見つかるからである。

②喀痰細胞診では、痰がきちんと採取されている事。これは、痰の中のがん細胞の有無を調べる検査である。レントゲンにはうつらないような、気道の中枢部の病変を知るのにも有効である。しかし、痰のつもりが、唾液がほとんどでは、診断に役立たない。

③治療や経過観察のため通院中の方が、集団検診に混入しないようにする事。放射線被爆が増える事も問題であるし、医療機関にかかっているながら、要精密検査呼び出しというもおかしな話である。

④検診は、毎年受けて頂く事。一年おきでも無効、という研究結果もある。出現時より、進行の極めて速い肺がんも、少なくないからである。

⑤予後調査・追跡調査・読影は、受診者の居住地で施行される事。中央の担当者が、遠隔地までフォローするのは、プライバシー保護の面からも、難しくなっている。

現行の検診方法とは異なるが、CTによる検診についても触れておきたい。検診にCTを導入すれば、がんの発見率は上がる。反面、膨大な数の、がんとは断定出来ない、微小な異常陰影も拾ってしまう。

それらすべてが、精査の対象となれば、本人の負担が大きい。又、膨大な医療費もかかり、費用効果比で損失大となる場合も出てくる。カウンセリングやフォローをどうするのかなど、未解決の問題も多い。CT検診が、本当に肺がん死亡率を下げるかは、これからの課題である。

市町村保健センターの紹介

富士市保健女性センター

富士市保健女性センターは、保健・女性・消費生活・ボランティアの4つのセンターからなります。そのうち保健センターは、市民に広く健康づくりに関する必要な知識や、情報を適切に提供するとともに、健康相談・健康教育・健康審査・機能訓練・予防接種などの保健事業や公害認定患者への補償給付事業、さらに食生活改善や体力づくり、あるいは保健学習等、市民自らの健康づくりの実践活動を積極的に助長する、総合的な保健サービス活動の拠点となる施設です。



富士市保健女性センター

事業内容

1 母子保健事業

(1) 母性保健

母子健康手帳の交付及び母子相談室での相談、妊婦健康診査、お母さん・お父さん教室、思春期における保健体験学習などを実施しています。

(2) 乳幼児保健

健康診査（乳児・1歳6か月児・3歳児）、子育て広場、子育てサークル交流会、子育て相談、離乳食講習会、むし歯予防教室などを実施しています。

2 成人・老人保健事業

(1) 健康教育

基本健康診査事後の教室として、血管いきいき教室、糖尿病予防教室、貧血はつらつ教室、ヘルシーウォーキング教室、骨の健康づくり教室などを行っています。

(2) 健康診査

基本健康診査及び各種がん検診（胃・子宮・乳・肺・大腸）を各公民館等で行う集団検診と医療機関で行う個別検診の両方で行っています。

また、40歳・50歳の市民には総合健診を実施しています。

3 結核予防事業

各公民館等を巡回して実施する胸部X線間接撮影、乳幼児及び小中学生へのツベルクリン反応検査・BCG接種を実施しています。

4 予防接種事業

集団接種としてポリオ生ワクチン投与、個別接種として三種混合、風しん、麻しん、日本脳炎、二種混合の予防接種を行っています。

5 訪問看護ステーション

疾病・負傷等により寝たきりの状態にある老人や、難病患者の方々が住み慣れた自宅で安心して療養できるよう看護婦が訪問して支援する事業を実施しています。

6 その他

(1) 特定疾病事業

難病患者の治療に伴う経費の軽減を図るため、治療助成費の支給をしています。

(2) 公害保健事業

損害補償のための補償給付、福祉事業としてリハビリテーション・転地療養・家庭訪問、予防事業として健康相談・健康審査・機能訓練（水泳教室・ぜん息キャンプ）等を実施しています。

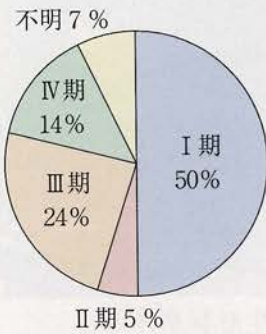
（富士市保健女性センター 事務吏員 青木洋和）

平成10年度肺癌精密検査結果

当支部受託の住民検診（13市町）に基づいた肺癌検診（40才以上）

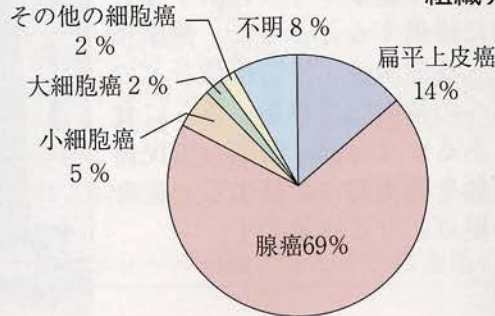
間接撮影	要医療機関受診	判定者	判定保留	原発性肺癌
104,476人	533人	420人	113人	59人

臨床病期分類



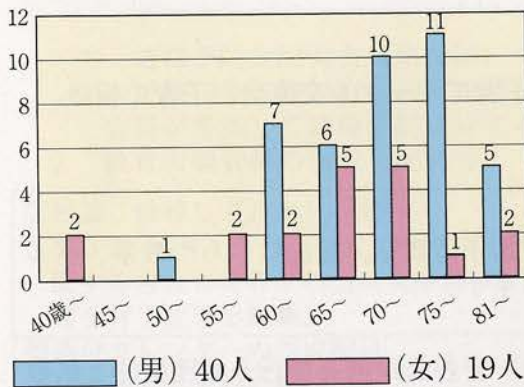
臨床病期分類	
I期	30
II期	3
III期	14
IV期	8
不明	4
計	59

組織分類

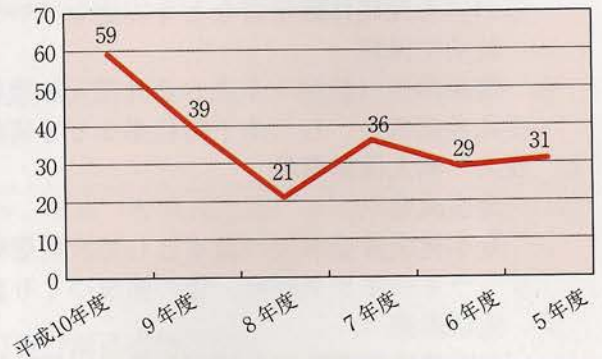


組織分類	
扁平上皮癌	8
腺癌	41
小細胞癌	3
大細胞癌	1
その他の細胞癌	1
不明	5
計	59

男女年齢別



過去6年間における原発性肺癌発見者数



年 度	10年度	9年度	8年度	7年度	6年度	5年度
間接撮影数	104,476	101,193	104,070	108,143	115,617	98,975

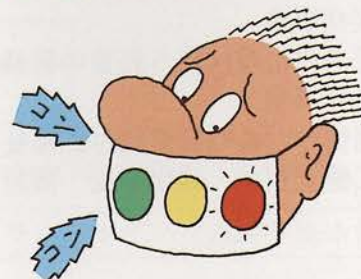
結核検診で肺癌も

早めに見つけて、きちんと治療すればほぼ治る結核に代わって、肺癌が立ちふさがっています。肺癌も早期ですと症状がなく、X線や痰の検査でしか見つかりません。しかし、結核と同様、いやそれ以上に肺癌こそ早期発見、早期治療が不可欠です。結核検診のフィルムで肺癌が見つかり、早期の手術をして助かったという話をよく聞きます。肺癌がどんどん増えています。結核と肺癌を併せて予防、そのための検診をお忘れなく。



長びくせきは赤信号

「今年の風邪はたちが悪い。なかなかせきが止まらない」…よく聞く話です。こんなとき一言、「早くお医者さんに診てもらいなさいよ」と注意してあげましょう。せきが2週間も続けば要注意。1カ月以上続く人からは、25人に1人の割合で結核が見つかります。せきや痰は肺癌の症状でもあります。おかしいなとおもったら早めに受診。迷っている間にも病状はどんどん進んでしまいます。



第51回結核予防全国大会に参加して

東京駅22番ホーム仙台行MAXやまびこ、始めて乗る二階車で週刊誌を読む暇も無く宇都宮駅に到着、51回結核予防全国大会の歓迎案内の看板とグリーンジャンパーのスタッフの人達に誘導され、第2分科会の会場の栃木県総合文化センターまで20分の道程である。始めて降りた宇都宮市は川の多い美しい街であるが日光、那須下ろしで自転車がバタバタ倒れており、寒風が厳しいと肌で感じられた。

昨年7月厚生大臣は、「結核緊急事態宣言」を発したが、今大会はまさに我が国の結核蔓延をストップさせるか否か、大会の中にその様子が大いにうかがわれていた。

※栃木県地域婦人連絡協議会今市市婦人会の演劇「2001年健康ユートピア<結核の過去、現在、未来>」

婦人会員40名が過去の部として、肺病の人々の農村での隔離の様子、村八分で友達とも会えない、悲惨な状態を大変リアルに表現し、現在の部では今51回大会で集団感染の事例、多剤耐性結核対策、結核発症知識及び普及啓発活動を積極的に行う事の大事さを大変解りやすく表現し、50年後未来の部として結核の無い生活で健康ユートピアを作り上げるまでを婦人会員が半年以上にわたる練習でまとめ上げ1,500名の参加者から大きな拍手をもらった事に感銘を受けました。

※結核予防会総裁秋篠宮妃殿下のお言葉は、結核緊急事態宣言後の予防会の取り組みに対する労い、又秩父宮妃記念結核予防功労賞受賞者に対するやさしいお言葉に感銘を受けました。

※特別公演「2000年宇宙の時代、新世紀の医学」
女房が宇宙を飛んだ

慶応大学病理診断部助教授向井萬起男氏の講演は日本初の女性宇宙飛行士である向井千秋さんの夫として大変ユーモアな人間味あふれた講演であった。

医師として結核とのかかわりはBCG（結核予防ワクチン）が初めてだった事、1994年の向井千秋さんが宇宙に飛んだ時に1年間慶応病院から奥さんの近くに留学していた事1997年の向井千秋さんが2回目宇宙飛行から帰還した後77才の宇宙飛行士ジョングレンのニューヨークにおけるパレードの際、奥さんと一緒にオープンカーでパレードに参加していいのかどうか日本人気質とのかっとうを大変ユーモアたっぷりに話された面白い講演であった。

萬起男氏の言葉の中で、「やるか」「やらないか」まよった時はぜったいにやる事、自然にさからわない事、生きている時は何でも体験する事、私もそんな気がする大変充実した二日間でした。

検診部長 白鳥岩男



平成12年度結核予防会静岡県支部事業計画

1 教育・広報事業

1 行事による教育広報

(1) 結核予防週間における啓発

静岡県ならびに市町村などと連携し、マスメディアなどの媒体を通して結核予防思想の普及・啓発に努める。

結核予防週間	実 施 内 容
平成12年9月24日～30日	①静岡駅におけるキャンペーンの実施 静岡県、静岡県結核予防婦人会と協力して、結核予防のリーフレット、オーキューバンを配付し、結核予防思想の普及啓発を図る。 ②ポスター等広報資料を県・市町村等に配付 結核の正しい知識と対策が広く県民に十分浸透するよう掲示、配付をお願いする。 ③結核対策のため複十字シール運動の大切さと募金協力のお願いを新聞に掲載。

(2) 静岡県結核予防大会の開催

静岡県結核予防婦人会と共催で、静岡県の後援並びに市町村の協力を得て大会を開催。

開 催 日	実 施 内 容
平成12年11月17日（金）	①特別講演 ②結核予防功労者、結核予防功労団体の表彰

(3) 結核予防全国大会（第52回）への参加

平成13年3月24日前後に徳島市で開催される結核予防全国大会に、県、市町村、結核予防婦人会員が参加して結核予防に対する意識の向上を図る。

2 教育広報資料の作成・配付等

広報誌「結核しずおか」の発行 年3回（4月・9月・11月）発行し結核予防に関する普及啓発並びに当支部事業のアピール等を行う記事を掲載。	県、市町村、病院（呼吸器内科）等関係機関及び複十字シール募金者に配付。
標語付カレンダーの作成配付	県、市町村及び関係機関に配付。
結核予防ポスターの配付	県、市町村、学校、事業所及び関係機関に配付。
「結核リーフレット」の配付（本部作成）	県、市町村、学校、事業所及び関係機関に配付。
「複十字」の配付（本部発行）	県、市町村及び関係機関に配付。
「健康の輪」(社)全国結核予防婦人団体連絡協議会作成	県、市町村及び関係機関に配付。
啓発用ビデオテープ、パネルなどの貸し出し	

3 報道関係との連携

結核関係の主要行事、結核関係資料等ニュース素材の提供を、静岡県所管課を通じて行い報道に取り上げてもらう。又、静岡県が行う広報事業に積極的に協力する。

4 関係機関、協力組織との提携

(1) 静岡県結核予防婦人会は、結成以来当支部と連携を密にして結核予防活動を行っているので、全面的協力ならびに支援を行う。

[協力・支援事業]

ア 静岡県結核予防会婦人会総会 イ 地区支部長・担当者会議 ウ 結核予防リーダー研修会
エ 中央講習会（第5回）参加

開 催 日	場 所
平成13年11月下旬	メルパルク東京

オ 地区幹部研修会（東海北陸地区）

開 催 日	場 所
平成12年9月18日（月）～19日（火）	焼津グランドホテル（静岡県焼津市）

(2) 県・市町村が行う健康祭等のイベントに参加

結核、肺がんのパネル等出展して参加者に対して、結核及び肺がんの対策普及啓発を行う。

県総合健康センター：健康フェスティバル	県女性センター：県民の日イベント	裾野市・清水町：健康まつり
---------------------	------------------	---------------

II 資金造成事業

①複十字シール募金運動	②経口生ポリオワクチンの斡旋	③出版物の斡旋 本部発行の結核関係の専門図書、刊行物の斡旋を行う。
-------------	----------------	--------------------------------------

III 検診事業

結核予防法による結核検診、老人保健法による胃がん、肺がん検診及び労働安全衛生法による事業所検診を実施し、もって県民の健康増進に寄与する。

◎計画

	学校検診事業	住民検診事業	その他の検診事業	事業所検診事業
間接撮影	63,000人	147,400人	28,200人	21,500人
直接撮影	800人	2,200人	400人	3,000人
肺がん検診		102,000人	500人	2,272人
肺がん喀痰細胞診検査		4,000人		
総合検診事業（間接撮影含む）				14,900人
胃がん検診			8,300人	

IV 施設・設備の整備

コンピュータの整備を行うとともにX線車1台を購入し、検診業務をより充実させる。

V その他

1 会議の開催

ア 理事会ならびに評議委員会を2回開催 イ 業務連絡会議月1回開催

ウ 各種委員会が必要な都度開催

エ 市町担当者会議

受託市町の検診業務の円滑化を図るため、前年度の反省を踏まえて来年度計画の打ち合わせを行う。
又、結核予防思想等の普及啓蒙のための講演を行う。

2 研修会、講習会への参加

(1) 本部主催

ア 結核予防全国大会（徳島市） イ 結核予防会支部東海北陸地区ブロック会議（石川県）

ウ 結核予防会保健事業運営協議会（開催地未定） エ 結核予防会事業連絡協議会

オ 結核予防会全国支部事務局長研修会、事務連絡会議

カ 結核研究所が行う各種研修及びセミナー

(2) 学会及び各種団体が行う研修会、講習会に積極的に参加し、知識、技術の向上に努める。

【富士宮市の結核検査】

富士宮市は、地図を見るとご存じのとおり、南は富士市、北は山梨県上九一色村と接しており、縦に長い地形です。お年寄りを含めより多くの人に受診してもらう為に、6月から10月までの5か月をかけ、市内76ヶ所を検診車で回っています。交通の規制の多い中、地区住民の理解もあり、会場設定もスムーズに行われています。

昨年は、「結核緊急事態宣言」を受けてか、受診者数が前年度を1,700人上回り、結核に対する市民の感心の高さがうかがえました。

検診スタッフには、放射線技師・運転手・受付事務に保健婦・看護婦が加わり、健康教育・健康相談にたずさわっています。

「血圧を測ってもらえて助かるよ～」等市民の皆さんの声を励みに暑い夏を乗り越えています。

今後は、結核検診の必要性を特に若者・高齢者に啓発するとともに、結核に対する正しい知識を普及させ、「自分の体は自分で守る」という理念のもとに、結核検診を進めていきたいと思っています。

最後に我が市のPRを……

1990年以降、民放の連続ドラマとしては最高の視聴率を記録した「ビューティフルライフ」。主人公の美容師柊二が、最終回の1～2回前に『富士山が見たい』という車椅子の杏子の希望をかなえ、湖畔から二人で富士山を眺めるシーンがありました。あの湖こそ田貫湖です。

この湖畔に、平成12年7月、全国36番目の国民休暇村がオープンします。

より多くの方々に訪れて頂き、素晴らしい自然を満喫し、心身共にリフレッシュしていただけたら幸いです。

（富士宮市保健センター 保健婦 高木美枝子）

お知らせ

平成12年度静岡県結核予防婦人会総会等

- 1 支部長担当者会議
 - (1) 開催日時 6月28日(水) 午前10時30分～
 - (2) 開催場所 静岡県総合社会福祉会館
 - (3) 協議事項 平成12年度事業計画等について
- 2 総会
 - (1) 開催日時 6月28日(水) 午後1時～
 - (2) 開催場所 静岡県総合社会福祉会館
 - (3) 協議事項 ①平成11年度事業報告及び歳入歳出決算案について
②平成12年度事業計画及び歳入歳出予算案について
 - (4) 特別講演



進んで受けよう健康診断

結核検診
肺がん検診
胃がん検診

第5回東海北陸地区結核予防婦人団体幹部研修会の開催

- 1 開催月日 9月18日(月)～19日(火)
- 2 開催場所 焼津グランドホテル (焼津市)
- 3 開催目的 結核予防に関する知識の向上と地区婦人団体相互の交流を図り、結核予防事業活動を円滑に推進発展させることを目的に開催する。

複十字シール運動の趣旨

世界保健機関(WHO)が、平成5年4月に結核の非常事態を宣言し、7年が経過した今もなお、結核は再興感染症の一つとして新興感染症とともに注目されております。

現在の日本では、マスコミ報道にも見られるように学校、医療機関、老人関係施設等において結核の集団感染が多発、それも手伝って平成9年には新規登録患者が38年ぶりに増加に転じ、平成10年も引き続き増加、それ以外にも多剤耐性結核問題、高齢者における結核患者の増加問題等があり、平成11年7月には厚生大臣より「結核緊急事態宣言」が発せられ、わが国における結核事情は緊急に対応を図らなければならない状況にあります。

こうした状況のなかで、複十字シール運動は結核や肺がんその他の胸部に関する疾患をなくして健康で明るい社会を作るため、これらの病気に対する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を造成することを目的とします。

また、国内のみならず世界の結核を撲滅するため、結核が蔓延している途上国への援助も募金の目的とするものです。

平成12年度採用複十字シール



未来に行けば
それがある
加賀 智哉

巣立ち
石田 隆・石川知市

希望
堀江 豊

【題字：田中隆：元支部職員】

寄稿者に感謝申し上げます。

皆様のお陰で、毎回順調に発行出来ます。
今後もよろしくお願いいたします。

「結核しずおか」を発刊して一巡できて
ホットしたと同時に1年間で3回発行する
には、企画をどうしたら良いか、どの
ような記事を掲載すればいいのかメドが
つき安心しました。しかし、自信が過信
にならないようより良い読ものにすべく
努めます。(T. H)

編集後記